

研究懇談会活動報告

1) 構造系研究懇談会報告

| 回数 | 開催日 | テーマ/講演者 | 参加人数 | 講演概要 |
|----|-------|---|------|---|
| 1 | 6月28日 | 教授昇格講演会/秦一平, 宮里直也(理工建築) 新任紹介/道明裕敏(理工建築) | 63名 | 秦先生と宮里先生の教授昇格記念と新任の道明先生を紹介する講演会及び懇親会を実施した。 |
| 2 | 7月6日 | 講演会:最近の地震災害を踏まえて 一今後の防災対策のあるべき姿/ 目黒公郎(東京大学教授) | 39名 | 海洋系懇談会との共同開催/現在の我が国の財政状況や少子高齢人口減少を考えると、今後の巨大災害への取り組みは『貧乏になっていく中での総力戦』と言える。「自助・共助・公助」の役割が変わる中で、防災対策に関する意識を「コストからバリュウへ」に改革することが重要だ。本講演会では、どのように意識を変え、総力戦を戦えばいいのか、従来の間違い、今から取り組むべきことなど、これまでと全く違う防災対策のあり方について講演が行われた。 |
| 3 | 8月23日 | 駿河台校舎南棟構造設計概要の説明と現場見学 | 22名 | 免制震構造による駿河台校舎南棟の構造設計担当者による設計概要と新築工事現場の見学を行った。見学会終了後、有志で懇親会を実施した。 |
| 4 | 12月8日 | 受賞記念講演会/麻生直木(竹中工務店)/2017日本 コンクリート工学会賞:作品賞「水天宮」 | 67名 | 講演者の自己紹介を兼ねたこれまでの業績紹介と、受賞作品である「水天宮」の設計上のコンセプト、工事の計画、導入技術について講演が行われた。併せて、受賞記念の懇親会を開催した。 |
| 5 | 2月24日 | 斎藤賞・加藤賞受賞候補者講演会 | 35名 | 理工学部および生産工学部の大学院修士論文審査会において斎藤賞・加藤賞の受賞候補となった研究論文の紹介を兼ねた講演会と交流会を実施した。 |

2) 海洋系研究懇談会報告

| 回数 | 開催日 | テーマ/講演者 | 参加人数 | 講演概要 |
|----|--------|--|------|--|
| 1 | 6月15日 | 知的生産性を向上させる建築空間の設計手法/小林直明(日本大学教授) | 23 | 建築と人の関わり方が再認識されている。工業製品においてもHMI(Human Machine Interface)が重要視されているなか、人間を包括する建築空間の在り方が人のアクティビティおよびプロダクティビティ(知的生産性)を左右する。現代におけるグローバル社会においてイノベーションを誘発させる建築空間の設計手法について考察するとともに、あらゆる用途における建築と人の在り方を解説いただいた。 |
| 2 | 6月22日 | 海の食料・エネルギー利用のためのプラットフォーム/北澤大輔(東京大学生産技術研究所教授) | 23 | 海洋で食料やエネルギーを生産するためには、目的に応じて安価で安全なプラットフォームを開発する必要がある。本講義では、食料利用とエネルギー利用のためのプラットフォームの研究開発例として、沖合で養殖を行う際に必要となる自動給餌システムとそのプラットフォーム、波浪がやや高い場合でも洋上で作業を行い、海洋構造物にアクセスするために、波エネルギーを吸収して乗り心地を向上した小型船などについて紹介いただいた。 |
| 3 | 6月29日 | 海洋構造物の構造特性と安全性/吉田宏一郎(東京大学名誉教授) | 16 | 海洋の利用・開発・保全に必要な各種海洋構造物のうち、バージ型、セミサブ型などの浮体を主たる対象として、構造体としての特性を考察し、機能性、安全性などとの関係を説明する。続いて、大事故の例として、北海における海底石油開発の途上で発生したセミサブの歴史的転覆事故、4年前のインド洋における大型コンテナ船の沈没事故、近年の沖ノ鳥島における橋脚敷設時の転覆事故の原因と防止策について解説いただいた。 |
| 4 | 7月6日 | 最近の地震災害を踏まえて 一今後の防災対策のあるべき姿一/目黒公郎(東京大学生産技術研究所教授) | 39 | 現在の我が国の財政状況や少子高齢人口減少を考えると、今後の巨大災害への取り組みは『貧乏になっていく中での総力戦』と言える。「自助・共助・公助」の役割が変わる中で、防災対策に関する意識を「コストからバリュウへ」に改革することが重要だ。本講義では、どのように意識を変え、総力戦を戦えばいいのか、従来の間違い、今から取り組むべきことなど、これまでと全く違う防災対策のあり方について紹介いただいた。 |
| 5 | 10月5日 | 子供が主役になれるまち横須賀市の魅力と活力を高める基本政策/樋口(横須賀市役所) | 84 | 農業・漁業とも活力に満ち、大規模商業施設や公営ギャンブル施設が立地し横須賀市。今も人口が増加傾向にある当市の勢いを継続するための基本政策を解説いただいた。 |
| 6 | 10月12日 | 新しい環境建築への試みーアーバンフィジックスとの共生に向けてー/大槻達夫(大成建設) | 89 | 環境問題が叫ばれる近年、建築の世界も変化が求められている。アーバン・フィジックスの実例として室内外の環境に配慮した新しい建築を紹介いただいた。 |
| 7 | 10月19日 | 建築構造設計の醍醐味と個人設計事務所経営/揚原茂雄(Structural Net) | 83 | これまで構造設計者として手掛けてきた建築作品の紹介を通して、建築構造設計の醍醐味について語っていただくとともに、独立後の個人設計事務所経営についても解説いただいた。 |
| 8 | 10月26日 | ゼネコンの視点からの建築構造設計/高橋孝二(西松建設) | 89 | 海洋建築工学科の卒業生の多くがゼネコンに就職しています。卒業後、ゼネコンマンとして成長していった経緯について紹介していただくとともに、ゼネコンの立場からの建築構造設計の魅力について解説いただいた。 |
| 9 | 11月9日 | 海洋コンサルタントとは/星上幸良(国際航業) | 82 | 海洋系のコンサルタント会社の大手である国際航業で行っている業務やその内容について、コンサルタントとは何をやる会社であるかも含めて詳しく解説いただいた。 |
| 10 | 11月16日 | ICT企業の動向とICT分野での活躍可能性について/岸菜圭一郎(ICT関連会社) | 86 | ICTという、情報を専門とした学部や学科の就職先と思いがたが、ICT関連企業が活躍する分野は幅広く、多くの人材が求められている。ICT分野の動向と、海洋建築での学習を活かしたICT企業で活躍する可能性について解説いただいた。 |
| 11 | 11月30日 | 海洋建築工学科を卒業してからゼネコンマンに成長するまでの道のり/松下孝行(大成建設) | 67 | 海洋建築工学科の卒業生の多くがゼネコンに就職している。卒業後、ゼネコンマンとして成長していった経緯について紹介し、学生諸君のキャリアデザインの参考になる話をしていただいた。 |
| 12 | 12月7日 | マリンコントラクターの設計と施工/原隆(不動テトラ) | 84 | 不動テトラが実施している業務を通して、マリンコントラクターの仕事内容を説明していただいた。 |
| 13 | 12月14日 | 新しい環境建築への試みーアーバンフィジックスとの共生に向けてー/桔川卓也(佐藤総合計画) | 79 | 環境問題が叫ばれる近年、建築の世界も変化が求められている。アーバン・フィジックスの実例として室内外の環境に配慮した新しい建築を紹介していただいた。 |
| 14 | 12月21日 | 海洋資源開発の技術ソリューション最前線/浅沼貴之(JOGMEC) | 75 | メディアで目にする機会が非常に多くなり、各方面から注目を浴びている海洋の資源開発の中心的役割を担うJOGMECで、技術ソリューション事業にかかわる技術開発の最前線について解説いただいた。 |
| 15 | 2月24日 | 平成30年度斎藤賞・加藤賞受賞候補者の研究発表会 | | |

3) 計画系研究懇談会報告

| 回数 | 開催日 | テーマ/講演者 | 参加人数 | 講演概要 |
|----|--------|----------------------|------|-----------------------------------|
| 1 | 4月27日 | オウケンカフェ#36/宮口明子・笠置秀紀 | 39名 | 宮口明子・笠置秀紀(ミリメーター)の活動を紹介。 |
| 2 | 5月31日 | オウケンカフェ#37/森本寛之 | 35名 | 森本寛之(株式会社リビタ)の活動を紹介。 |
| 3 | 6月28日 | オウケンカフェ#38/長岡勉 | 24名 | 長岡勉(POINT)の活動を紹介。 |
| 4 | 7月26日 | オウケンカフェ#39/青木弘司 | 51名 | 青木弘司(青木弘司建築設計事務所)の活動を紹介。 |
| 5 | 9月27日 | オウケンカフェ#40/菅原大輔 | 46名 | 菅原大輔(SUGAWARADAIJUKE建築事務所)の活動を紹介。 |
| 6 | 10月25日 | オウケンカフェ#41/阿野太一 | 44名 | 阿野太一(建築写真家)の活動を紹介。 |
| 7 | 11月29日 | オウケンカフェ#42/岡安泉 | 27名 | 岡安泉(岡安泉照明設計事務所)の活動を紹介。 |
| 8 | 12月20日 | オウケンカフェ#43/遠藤克彦 | 50名 | 遠藤克彦(遠藤克彦建築研究所)の活動を紹介。 |

4) 材料施工系研究懇談会報告

| 回数 | 開催日 | テーマ/講演者 | 参加人数 | 講演概要 |
|----|--------|--|------|---|
| 1 | 7月8日 | ①振り向けば 草ぼうぼう/浦憲親 ②合板を用いた壁型枠におけるコンクリートの側圧と変形に関する研究 /荒巻卓見 | 34名 | ①ご定年退職(金沢工業大学)を機に、学生生活および社会生活を振り返って印象に残った出来事などについて講演した。 ②学位取得論文「合板を用いた壁型枠におけるコンクリートの側圧と変形に関する研究」の内容について説明した。 |
| 2 | 7月29日 | 第42回 研究講演会/応募者有志 | 30名 | 最近公表した研究成果を発表・紹介した。 |
| 3 | 12月16日 | ①仕上塗材の劣化を考慮したコンクリートの中酸化抑制効果の評価に関する研究/唐沢智之 ②コンクリート中の鉄筋腐食速度に及ぼす各種要因の影響の評価に関する研究/掛川勝 | 28名 | ①仕上塗材によるコンクリートの中性化抑制効果を明らかにするために実施した実建物の調査結果、文献調査結果を基にした評価、および劣化を与えた仕上塗材による実験を基にした評価、さらに透気試験結果を用いた評価に関する一連の研究について説明した。 ②学位論文「高温高湿条件および屋外暴露条件における鉄筋の腐食面積率および質量減少率の結果から提案した、コンクリート中の鉄筋腐食速度推定式に関する研究」の内容について説明した。 |
| 4 | 3月17日 | 笠井芳夫賞(優秀修士論文賞)論文発表会ならびに表彰式/笠井芳夫賞受賞者 | 29名 | 笠井芳夫賞を受賞した修士論文について発表した。 |

5) 環境技術系研究懇談会報告

| 回数 | 開催日 | テーマ/講演者 | 参加人数 | 講演概要 |
|----|--------|---|--|---|
| 1 | 10月19日 | 建築電磁環境技術の基礎 ~工学系学生へ向けての講義の紹介~ 吉野 涼二 先生(博士(工学)) (株式会社 環境調査事務所 技術顧問) | 会 員 11名 特 別 1名 学 生 18名 | 環境電磁波工学と呼ばれる電子機器に対する電磁妨害波対策の多くは経験則に基づく技術であるが、電子・電気工学のみならず、実際に利用される建築空間の環境技術としても重要である。しかし、当分野における建築技術者への普及啓発活動は充分とはいえない。本講演では、建築および電子・電気系の学生を対象として実施している基礎技術に関する講義をご紹介します。当該講演に対する皆様方からのご意見等を元に、今後、より良い教育普及活動を推進したいと考えている。 |
| 2 | 12月14日 | 『柏の葉ゲートスクエア』の環境・省エネ技術の紹介 番 陸宏 先生 (株)銭高組 建築事業本部 設計統轄部 設備設計部) | 会 員 11名 特 別 2名 非会員 1名 学 生 35名 | つくばエクスプレス線『柏の葉キャンパス』駅前に2014年に竣工したオフィス、商業、ホテル、住宅などの複合施設『柏の葉ゲートスクエア』の環境・省エネ技術を紹介します。 『柏の葉ゲートスクエア』は、持続可能型社会の実現を目指す大規模複合開発『柏の葉スマートシティ』の中核を担う先行施設として位置づけられ、多くの省エネ・創エネ・蓄エネ技術が採用されています。 |